

**最下階合流用通気継手  
仕様図 アップロード**

同一排水立て管系統の最下階排水横枝管を、直接その系統の排水立て管に合流させる、いわゆる最下階合流方式は、ここ数年で急激に施工実績が多くなっています。最下階合流方式を採用することにより、排水横主管の数を減らすことができ、専用トレンチ内の納まりを容易にします。

特に免震装置が設置されるケースでは、排水横主管の納まりに苦慮することが多いので、メリットがあります。しかし、排水通気性能上の観点からは最下階排水横枝管の正圧による破封を回避する配慮が必要となります。

当社では繰り返し実験により性能を確認し、スラブ下の納まりをさらに改善させることができる「最下階合流用通気継手」を提案しています。

最下階合流用通気継手「CP-SS」「HQ-SS」と最下階合流用脚部継手「LJS-K」を組み合わせることにより、スラブ下から排水横主管芯までの距離を166mmで納めることができます。

仕様図・CADデータをアップロードいたしましたので、ご活用ください。

●最下階合流用通気継手 CP-SS 100×80

●最下階合流用通気継手 HQ60-SS 100×80-80(L)



1体型  
1口型



2体型  
2口型

●ダウンロードセンター24

HQ60-SS

【単位: mm】	
標準排水立管接続口の中心間隔	80
標準排水立管径	100
排水横主管径	80
標準排水立管全長	780
取付高さ	780

CP-SS

【単位: mm】	
標準排水立管径	100
標準排水立管全長	560
取付高さ	560

■部品表

No.	部品名	材質	表示処理
1	継手本体	FC 150	エポキシ樹脂コーティング
2	UGレジン	EPDM	
3	UGレジン	EPDM	機械研磨センター
4	スリーブ	P-エポキシ	

図種	仕様図	品名	最下階合流用通気継手	品番	CP-SS 100×80	図番	仕様 16-020-00
製	株式会社 小島製作所	単位	mm	尺度	1:10	作成年月日	2016.03.29
承		承認	加茂	検	岩根	作	大浦

〒4-0-027 東京都中央区新富町5丁目1番地  
TEL: 03-5561-0001 FAX: 03-5561-0000  
URL: <http://www.kojima-core.co.jp>